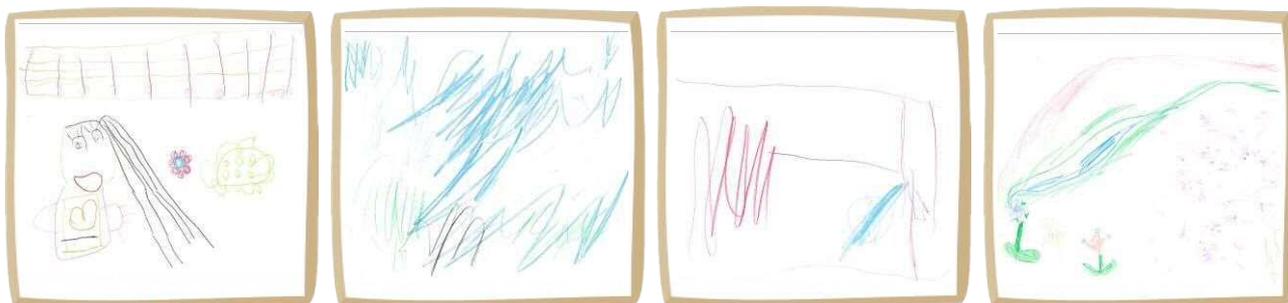


第6章 計画の推進に向けて

- 1 計画の推進にあたって
- 2 計画の進行管理



第6章 計画の推進に向けて

本計画を着実に推進するために、以下の取組を行います。

1 計画の推進にあたって

(1) 協働による緑のまちづくりの推進

本計画では、「市民・緑の所有者や管理者・行政等の協働」を基本方針の1つ（「緑の支援」）に位置づけており、緑の恩恵を受けている者（市民、行政等）全てが“緑の保全”、“緑の活用”、“緑の創出”に参加する意識を持ち、行動していくことが必要であると考えています。

協働による取組が円滑に推進されるように、市は、本計画に位置付けた施策や具体的な取組の周知・浸透を図ります。また、市民・企業の自主的な活動の立ち上げや充実に対する支援を行うものとしします。

(2) 庁内会議における進捗管理

施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、市の関係部課において進捗状況の点検を行うとともに、関係部課が進捗状況について情報共有し、連携することにより、施策の進捗を図ることを目的として庁内会議を開催します。

なお、緑に関わる施策に対して当事者意識を持ち、緑の担当課だけでなく、関係部課においても施策を積極的に推進していくため、具体的な緑の取組を毎年チェックシートへ記載し、集計を行い、適宜見直し等を行っていくこととしします。

2 計画の進行管理

本計画は、計画（Plan）、実施（Do）、点検・評価（Check）、見直し（Action）といったPDCAサイクルの流れに基づき、計画の進行管理を進めます。

計画期間の中間年次である2025年（令和7年）頃を目途として、第3章で掲げた計画の目標の達成状況、第4章で位置づけた具体的な取組の進捗状況等をもって、計画の進捗状況を点検・評価して公表します。

また、上位計画である日進市総合計画及び日進市都市マスタープランに大きな変更が生じた場合や、特定生産緑地指定事務に伴う農地から宅地への転用状況、今後の社会経済情勢の変化、協働による地域別の取組等に伴い新たな課題や市民ニーズへの対応が必要となった場合には、必要な時期を見定めたくうえで、計画の見直しを行います。

さらに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような新たな感染症の影響により、職住をはじめとするライフスタイルに変化が生じ始めていることから、様々なニーズ、変化に対応した緑のまちづくりのあり方や公園の管理運営のあり方等、新たに緑のまちづくりに求められる役割を踏まえた見直しを必要に応じて行います。

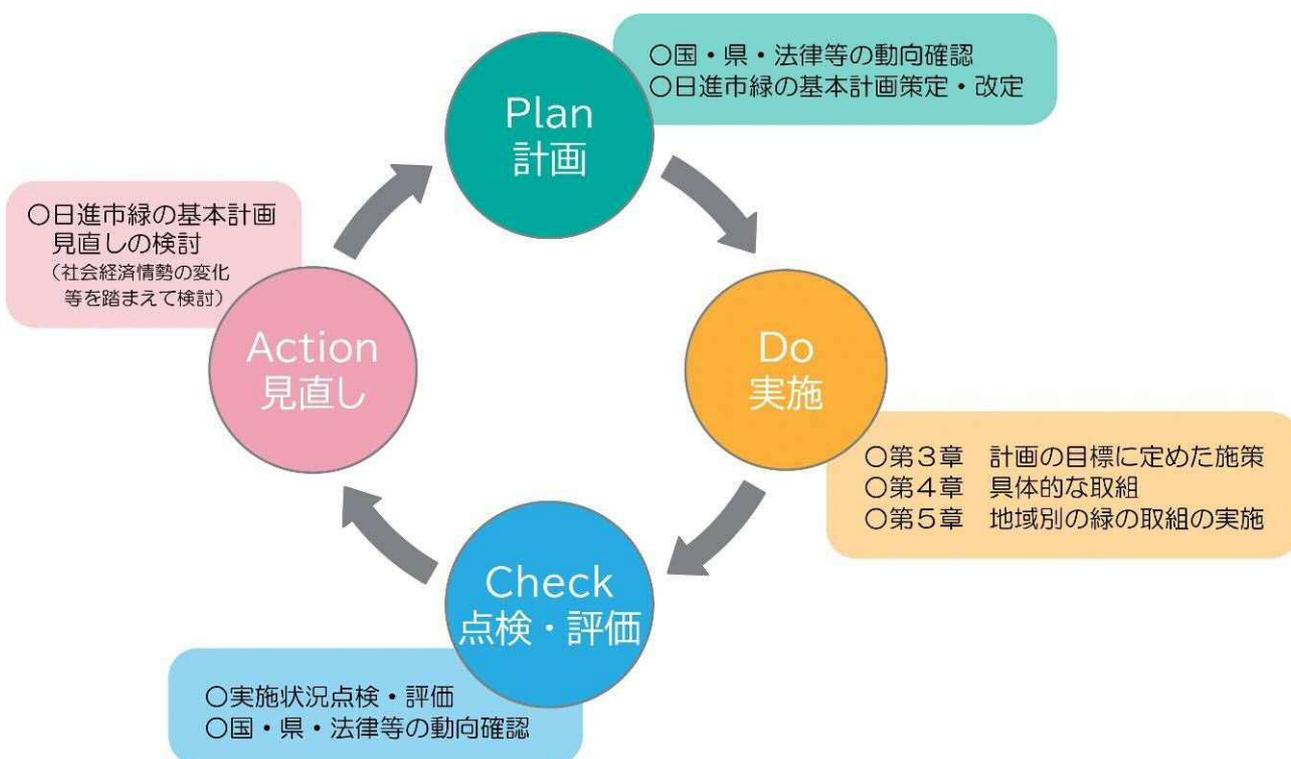


図 PDCA サイクル

コラム6：ニューノーマルに対応した公園の活用

国土交通省では、令和2年8月に、新型コロナウイルスに対応した「新しい生活様式」の定着が求められるなか、感染対策に気をつけながら積極的に都市公園を利用する際のポイントをまとめました。

■「新しい生活様式」の中で、今こそ公園の力が必要！

身近な公園は、みどり豊かで開放的な環境の下で、散策、遊び、休息、スポーツなど、健康的な生活に欠かせない活動を楽しめる貴重な緑のオープンスペースです。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の地域では、感染拡大防止策として公園全体や園内の施設を閉鎖せざるを得ない状況も生じました。

現在、「新しい生活様式」の定着が進んでいますが、感染予防のためには、一人一人の心と体の健康を保つことも重要です。感染症対策による活動制限・運動不足の長期化による影響として、ストレス蓄積、体重増加、生活習慣病の発症・悪化、腰痛・肩こり・疲労、体調不良なども指摘されてきています（コロナ禍の健康二次被害）。

新型コロナウイルスに負けない健康的なライフスタイルを支えるため、今こそ、全国約11万箇所（1人当たり約10㎡）ある公園ストックの活用が求められています。

■身近な公園利用の4つのポイントを整理

今後、感染状況等が変化する中においても、誰もが公園を安心して利用できるよう、感染症対策の専門家等からの助言もいただいて、『新しい生活様式』を踏まえた身近な公園利用のポイントを整理しました。

多くの方々が、以下の4項目に気をつけ、マナーと思いやりを大切に、身近な公園を利用し、健康的で楽しい時間を過ごして頂けることを期待しています。

「新しい生活様式」を心がけて公園をつかおう！…4つのポイント

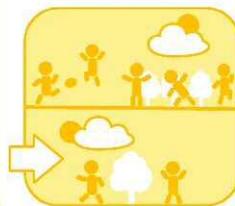
- 新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の中では、**心と体の健康を保つため、体を動かしたり、屋外でリフレッシュすることも大切です。**
- 以下の4つのポイントに気をつけ、**マナーと思いやりを大切に、身近な公園を利用しましょう。**

1. 体調が悪いときは利用を控える



- ☑ 発熱、咳、のどの痛みなど体調不良の際は外出を控えましょう

2. 時間・場所を選び、ゆずりあおう



- ☑ 混んでいると感じたら時間を変えるか別の公園を探しましょう
- ☑ 利用する時間はいつもより短めにしゆずりあいましょう

3. 人と人とのあいだをあけよう



- ☑ 他の利用者とは、できるだけ2m（最低1m）離れましょう
- ☑ 十分な距離をあけられる時は、マスクをはずしましょう

4. こまめに手洗いしよう



- ☑ みんながよく触れる場所に触ったあとは手洗いしましょう
- ☑ 家に帰ったら、まず手と顔を洗いましょう

※ この資料は、「新しい生活様式」を踏まえた公園利用の基本的なポイントを示したものです。具体的な公園の利用については、各公園や地域の状況に応じて判断していただく必要があります。利用者のみならずおかれては、各公園の管理者から示されている注意事項等も十分ご確認のうえ、ご利用ください。

New Normal Park Life

新たな日常×公園の魅力

陽の光
光を浴びて
元気いっぱい。

大空
見上げれば
隣町にも
宇宙にもつながる
開放感。

そよ風
吹く風は
心地よい
自然の換気。

木陰
木々の枝葉に
守られ
外でも涼しく。

広がり
天井や壁のない
広々とした空間。
食事もゆったり
気持ちよく。

**地域との
つながり**
リモートワークが
続いても
公園に行けば
誰かに会える。

五感
色や匂いで
季節を感じる。
いきもの、花、木々との
リアルなふれあい。

公園はいつもあなたのそばにある！
新型コロナウイルス感染症の広がりにより外出を控えることが多くなり、健康二次被害が指摘されています。屋外で気持ちよく過ごし、感染症に負けない健康な心と体をつくることも大切です。そんな中、身近な公園が注目されています。歴史的にも、都市に公園をつくる大きな目的は衛生上の必要性とされ、「都市の肺」として整備が進められてきました。そしていまは全国に1人あたり10㎡のストックがあります。身近な緑のオープンスペースで、リフレッシュしたり、体を動かしたりできるんです。公園では、リモートでは体験できない五感で感じるリアルな体験が待っています。

**もっと公園に
出かけましょう**

国立成育医療研究センター理事長 五十嵐 隆
子どものことと体の発達にとって、戸外で遊ぶことはとても重要です。この時期であるからこそ、公園を上手に利用していただきたいと思います。

全国都市公園整備促進協議会 <https://www.posa.or.jp/sokushin/>
お近くの公園の情報は、市区町村のHPなどで探すことができます。さあ、公園に出かけ、利用のルールを守ってもっと楽しい時間を過ごしましょう！

新しい生活様式で公園を楽しむ方法 アイデア無限大

青空の下でエクササイズ
土や草の匂いを感じながら、大きく深呼吸。体を動かして活力を取りもどそう！

歩数計を持って出かけよう
草木や花を眺めながら歩くだけで、心も身体もリフレッシュ。坂道があればハイキング気分も味わえる。

アウトドアでやってみよう
太陽の下、フライングディスク、バドミントン。木陰でトランプ、将棋だって。たまには仕事も外で気持ちよく。遊び方も楽しみ方もあなた次第。

お気に入りの場所でゆったり
芝生で寝ころんでOK！好きな場所で本を読んだり、音楽を聞いたり、絵を眺めてリラクスタイムをどうぞ。

シートひとつでどこでもカフェ
風通しのよい公園で、お気に入りのコーヒーを。

すぐ行ける遊園地
ブランコも滑り台もお家のすぐ近くに！小さな公園も子どもにとっては大きな遊園地。

土に触れて自然を感じる
しゃがんで土いじり。地面をみるとバッタ、アリの巣、ダンゴムシ。

草花と外遊び
シロツメクサの花飾りや笹角作り、オオバコ草相撲…草遊びで身近な草を知り、花の香りや季節を感じて、思い出づくり。

生きもの探しの大冒険！
セミの抜け殻、トンボの産卵…公園は、大自然への第一歩。まるで、様々な不思議や発見がある身近なジャングルです。

全国都市公園整備促進協議会 <https://www.posa.or.jp/sokushin/>
お近くの公園の情報は、市区町村のHPなどで探すことができます。さあ、公園に出かけ、利用のルールを守ってもっと楽しい時間を過ごしましょう！